

とっまよう 自治体の仲間

2025. 12. 15
VOL. 427

発行所
東京自治体労働組合総連合
〒170-0005
豊島区南大塚2-33-10東京労働会館4階
TEL 03-5940-7951 FAX 03-5940-7957
発行人 矢吹 義則
定価 100円
(ただし組合員の購読料は組合員に含まれております。一冊に1部割)
本紙は再生紙(古紙75%以上)を使用しています

http://www.tokyo-jichiroren.org/ E-mail honbu@tokyo-jichiroren.org

「生計費調査運動」に取り組みます

「賃金引き上げ実現へ」ご協力ください

厳しい生活実態が続く中で

近年、物価上昇や教育費・住宅費の負担増などにより、自治体で働く職員の生活に大きな影響を及ぼしています。「毎月の支出が増えているのに給与は追いつかない」「子育てや住宅取得に不安がある」など、職場の若手職員から中高年ま

定基準である国家公務員法では、「生計費、民間賃金、その他の事情」を考慮することが定められています。ところが過去、人事院は民間賃金の中に生計費が反映されていないとの理由で、生計費の独自検証を十分行ってきたませんでした。また、国が示す「標準生計費」も実態とかけ離れており、住民サービスを支える公務員の生活を守るという本来の視点が欠落しています。

こうした多様な実態を把握するため、住宅費・教育費・将来への備え(貯蓄・保険)などの項目を大幅に見直し調査票となつていきます。

多くの組合員の「ご協力」を
生計費調査は、生活が苦しいという、個人の困難を、社会的・政策的課題と

自治労連の取り組みとして共有し、仲間同士つなぐ力を広げる取り組みでもあり、全国の加盟組織で実施します。東京全体では5000人の皆さんに協力を頼む予定です。具体的には、各組合の役員より声

掛けをさせていただきます。お声がかかった際にはぜひご協力ください。なお、不明な点があれば、組合事務所または組合役員に問い合わせて下さい。



気がついたら十月、師走である。子どものときは「早く来い来いお正月だ」と。それが大人になると、月日の経つのが早いことある人は「時速年齢」という表現をしている。十代なら十キロの時速だが、それが五十代、六十代、七十代と年齢を増すごとに速度を増し、気が付いたときは足元を時間が喰り上げて過ぎ去っていく。昨今、多くの大人たちは気ぜわしい日々を送っている人が多いのではないか。

調査の内容は所持品の点検

調査の結果は、マーケット・バスケット方式(生活に必要な品目を積み上げる方式)によって、各世帯類型における最低生計費の試算につなげます。職員が「普通に生活するために必要な費用」を科学的に示すことで、賃金請求の社会的正当性を強め、賃金要求の根拠となる重要なデータとなります。

調査の結果は、マーケット・バスケット方式(生活に必要な品目を積み上げる方式)によって、各世帯類型における最低生計費の試算につなげます。職員が「普通に生活するために必要な費用」を科学的に示すことで、賃金請求の社会的正当性を強め、賃金要求の根拠となる重要なデータとなります。

作家芥川龍之介は「ほんやりした不安」という言葉を残して三十五歳で自害したが、昨今の世の中を見ていると、高市首相の台湾有事発言、ウクライナ戦争後に生じた物価高騰のサイクロン並みの強風、薬代の自己負担や介護保険利用の二割負担など一連の社会保障の切り下げが目白押し。このまま明日もご飯を食べられないだろうかという不安に包囲されている。

高市首相が強行する「憲法改悪・大軍拡・戦争する国」とめる運動を広げよう

第21回憲法をいかす自治体労働者東京連絡会総会
11月28日・ラパスホールで開催 45名参加

スパイ防止法の危険性について学ぶ
「憲法をいかす自治体労働者東京連絡会 総会に先立ち「スパイ防止法の危険性」について学ぶ

性について船尾弁護士(東京東部法律事務所)が講演しました。船尾弁護士は、敵国がなければスパイはいない「戦争がなければスパイはない法律」として日本を戦争する国にするものである

なかつた。「歴史は繰り返される」と「世論を結果させよう」など、驚きの感想や運動をすすめる決意が寄せられました。

第21回総会
高市政権が急速にすすめる戦争する国への策動ととめるためには世論を大きく

することが重要であり、さらに運動を広げること、そのために学習する機会を増やすことや賛同団体を増やすことなどが確認されました。また、被爆後80年の今年の運動を来年度も引き続き広げていくことが確認されました。20年続いたこの運動を職場・地域でさらに広げていきたいと思います。

ただここで嘆いていても何も始まらない。座して死を待っていたら、相手の思うツボ。私たちの生活基盤を壊す連中に、抗議の声をあげよう。SNSで、ハカキで、電話で、友だちに広げよう。声をあげよう。国会に足を運んで怒りの声をあげよう。それは明日からではなく、今日からみんなで行動に移そう。

いよいよ本番!

第15回東京地方自治研究集会

いのちと平和 暮らしを守る自治の力

-東京から公共を再生する-

2025年 **12月21日** 日 9:30-15:30

会場: 明治大学リパティタワー

参加費 無料

みんなで参加しよう

きめ細やかな内容へ改訂
同調査では、従来のような単身・賃貸住宅を前提とした調査内容をあらため、全世代を対象に再構成されています。例えば、30代以降では、住宅ローンなどの支払いが増え、また、子



「スパイ防止法は戦争がなければ不要」講演する船尾彦士弁護士

「スパイ防止法は戦争がなければ不要」講演する船尾彦士弁護士

全労連「労働運動交流集会(レバカレ)2025」 対話と学び合いを実践に活かす 参加者レポート

保育の自治研活動 第32回『生き生き』を 開催

子育てまじりの『生き生き』を開催

墨田区職労



墨田区職労保育園支部は、314人の親子が遊びに来てくれました。今年も新しく公的保育のコーナーとして開催しました。総勢50名のスタッフで開催

「各園の紹介ポイント」と題して各園の紹介コーナーを設けました。どんな保育園があるのか、または自身が通っている園を探したり、参加した職員も興味深く見たりと多くの方に墨田区の公立保育園について知ってもらえることができました。

「悪意の養育」を持ちながら、仲間と兵に進みたい。分科会(天衆教育と労働運動)では、労働問題を自分ごととして考え行動するに教育と対話が不可欠であり、組合活動を特別なものではなく日常の延長と性を感じました。

「組合の大切さ」を身に染みて感じた。私は「ストを構える非正規公務員」分科会に、フシリテーターに原田書記長、当事者Uさんと共に登壇しました。

「子育てまじりの」をキーワードに、和室にて親子で木製の玩具で遊んだり、子育ての相談もできました。

来訪した親子に公立保育園の良さ・楽しさを子育てまつりを通して肌で実感してもらえばかりでなく、園・都向けの保育署名に快く署名して下さる方もいました。

この子育てまつりをきっかけに、地域や保護者の方々に日本の保育に関心を持ってもらい、私たちと一緒に子どもの最善の利益につながる運動の輪を大きく広げていきたいと思います。



各分科会の様子

全労連「労働運動交流集会(レバカレ)2025」が、10月11・13日の3日間、東京都内で開催されました。全国から700人以上、東京自治労連の単組・局支部からも多くの組合員が参加しました。

交流集会は70の分科会と3つの全体会が開かれ、全国の労働運動の実践や教訓を交流し、対話と学び合いの重要性を参加者がそれぞれ自身の力に、今後の活動の糧としました。

「生理」をテーマとした分科会では幅広い情報交換が行われ、この要求は労働者全体の課題で労働組合が取り組むべき重要なテーマとして共有されました。言いづらいく、聞きづらいくと話す場が運動するものにこそ必要と感じました。

Uさんは会計年度任用職員制度下で突然雇止め通告を受け、組合と共にストライキを構え交渉し、区側の態度変化により職場復帰を果たしました。「非正規でも加入できる公共一般という組合を知ってすぐ加入して良かった」と語り、自身の経験から組合の重要性を実感し、同僚も誘い組合加入したことを報告しました。

「組合の大切さ」を身に染みて感じた。私は「ストを構える非正規公務員」分科会に、フシリテーターに原田書記長、当事者Uさんと共に登壇しました。

「組合の大切さ」を身に染みて感じた。私は「ストを構える非正規公務員」分科会に、フシリテーターに原田書記長、当事者Uさんと共に登壇しました。

「組合の大切さ」を身に染みて感じた。私は「ストを構える非正規公務員」分科会に、フシリテーターに原田書記長、当事者Uさんと共に登壇しました。

「組合の大切さ」を身に染みて感じた。私は「ストを構える非正規公務員」分科会に、フシリテーターに原田書記長、当事者Uさんと共に登壇しました。

東京自治労連保育部会は、東京都福祉局保育支援課と要請懇談を行いました。懇談には、部長をはじめ、国立市職や公共一般など各単組から11人が参加

要請は、保育料無償化で公立保育所への都負担は1/2の理由(民間は定額都負担、東京の施策と国が26年度から制度化する「とも誰でも通園制度」の関係など5点にわたり要請しました。要請の中では、それぞれの現場の状況に触れた発言があり、都は現場の様子が変わり参考になると発言しました。

風通しの良い職場づくり。課長の「ほかの課の職員がうらやむくらいに明るく楽しい職場にしたい」という訓示により、とても動き

やすい職場です! 積み重ねて今がある、できることから始めたい。「とうきょう」を見ていると多くの方が行動していることを実感し、その積み重ねで今があるのだと感じます。人手不足で疲弊する日々ですが、署名などできることからやってみようと思える人にとっても、優しい入り口だと思いました。

キ	ツ	ネ	ア	キ	ナ	ス
ノ	ー	ス	ブ	タ	スタ	
コ	シ	ヨ	ウ	イ	ヤ	ミ
	ヨ	セ	ガ	キ	ス	ナ
マ	ツ		ク	シ	ヨ	ウ
ゴ	ト	ウ	ヨ	ウ	ケ	イ
ノ		ガ	ロ	ウ	ア	ナ
ヒ	ロ	イ	ン	ス	イ	リ

【応募総数】182通 正解者の中から、厳正な抽選の結果、次の30名の方々が当選されました。

景品の図書カード(5000円)は、組合事務所へ送ります。

クロスワード 10月20日出題
正解 アキノヨナガ

なかまの 声

共済グループ 2026年新春旗開き & 新春ボウリング大会のご案内
日程 2026年1月30日(金)

第1部ボウリング大会
会場 東京ドーム・ボウリングセンター
17時45分受付開始
募集 120人
1支部2チーム6人まで先着順
参加費 1人 2,500円
優勝賞品からブービー賞まで景品多数! もれなくもらえる参加賞付

第2部旗開き & ボウリング表彰式
会場 東京ドームTGIフライデーズ
19時15分受付開始

第1締切 2026年1月16日(金)
第2締切 2026年1月23日(金)

申込は、所属の組合事務所まで

自治労連共済東京支部
〒170-0005 墨田区南大塚 2-33-10 東京労働会館4階
TEL03-5319-7127 FAX03-5319-7156

組合員のための 無料法律相談

日時 1月15日(木)13時~
担当 坪田 優 弁護士
場所 東京南部法律事務所 (最寄り駅: 蒲田駅)

東京自治労連の組合員はどなたでも無料(初回のみ)。東京自治労連の顧問弁護団の弁護士に相談できます。ご希望の方は下記までご連絡ください。
東京自治労連・法律相談係 ☎03-5940-7951

やすい職場です!

積み重ねて今がある、できることから始めたい。「とうきょう」を見ていると多くの方が行動していることを実感し、その積み重ねで今があるのだと感じます。人手不足で疲弊する日々ですが、署名などできることからやってみようと思える人にとっても、優しい入り口だと思いました。